

Mothers

証券コード

3773



株式会社アドバンスト・メディア

平成24年3月期 決算説明会資料

平成24年5月15日

<見通しに関する注意事項>

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。

その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因等により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

業績の概況 (平成24年3月期)

取締役 経営管理部長
立松 克己

1-1. 連結業績サマリー

単位：百万円

| | 平成24年3月期 | | 平成23年3月期 | | 対前年増減 | |
|----------------|------------|--------|----------|--------|-------|--------|
| | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 |
| 売上高 | 1,239 | 100.0% | 1,512 | 100.0% | △273 | -18.1% |
| 売上総利益 | 770 | 62.1% | 913 | 60.4% | △143 | -15.7% |
| 営業利益 | △290 | -23.4% | △120 | -7.9% | △170 | — |
| 経常利益 | △250 | -20.2% | △17 | -1.1% | △233 | — |
| 当期純利益 | 1,646 | 132.8% | △5 | -0.3% | 1,651 | — |
| 1株当たり 当期純利益 | 10,788.04円 | — | △37.34円 | — | — | — |

1-2. 持分法適用関連会社株式の譲渡

平成23年8月18日に当社持分法適用関連会社Multimodal Technologies, Inc.（米国）（以下、MTI社）株式全てを、MedQuist Holdings, Inc.（米国、NASDAQ 上場）（以下、MedQ社）に譲渡をしました。

MTI社株式譲渡の対価

| 譲渡対価の項目 | 対価 |
|-------------------------------------|------------|
| ①譲渡を契機として金銭で受領した配当 | 1,596千米ドル |
| ②譲渡完了日に金銭で受領した譲渡対価 | 10,737千米ドル |
| ③譲渡完了日にMedQ社株式で受領した譲渡対価 | 1,204,800株 |
| ④一定の条件のもと、譲渡完了日から3年間以内に金銭で受領予定の譲渡対価 | 8,251千米ドル |

株式譲渡に関する財務上のインパクト

- MTI社からの受取配当金122百万円（個別）を営業外収益に計上
- 関係会社株式売却益2,008百万円（連結）、1,914百万円（個別）を特別利益に計上
- MTI社が当社持分法適用対象から除外することにより、営業外収益に計上される持分法による投資利益が減少

1-3. 連結損益計算書

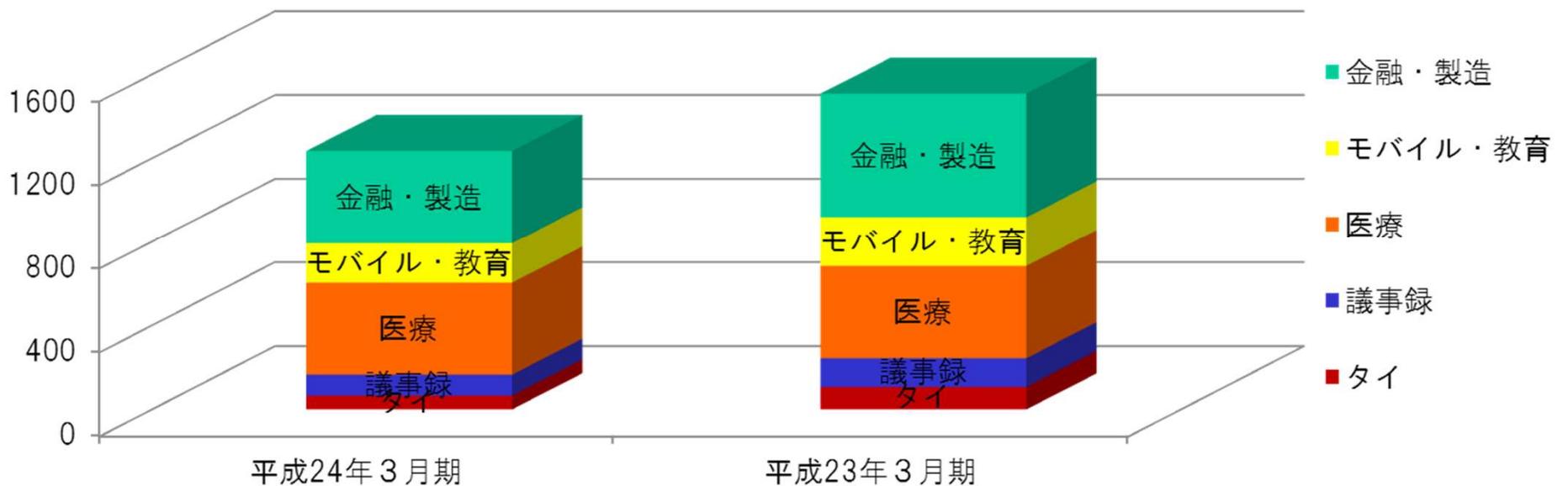
単位：百万円

| | 平成24年3月期 | | 平成23年3月期 | | 対前年増減 | | 主な要因 |
|-------|----------|--------|----------|--------|-------|--------|---|
| | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | |
| 売上高 | 1,239 | 100.0% | 1,512 | 100.0% | △273 | -18.1% | 金融・製造分野（コールセンタ）を伸ばさせられなかった |
| 原価 | 468 | 37.8% | 598 | 39.6% | △130 | -21.7% | 粗利率改善の継続的な取り組み |
| 売上総利益 | 770 | 62.1% | 913 | 60.4% | △143 | -15.7% | 粗利率改善の継続的な取り組み |
| 販売管理費 | 1,060 | 85.6% | 1,034 | 68.4% | 26 | 2.5% | 当初計画を下回る水準で推移 |
| 営業利益 | △290 | -23.4% | △120 | -7.9% | △170 | - | 粗利益率および販売費及び一般管理費は計画通り推移したが、売上高が減少したため |
| 経常利益 | △250 | -20.2% | △17 | -1.1% | △233 | - | MTI社を当社グループから除外したため、持分法による投資利益の計上が無くなったため |
| 当期純利益 | 1,646 | 132.8% | △5 | -0.3% | 1,651 | - | MTI社株式の譲渡に伴う関係会社株式売却益2,008百万円を計上したため |

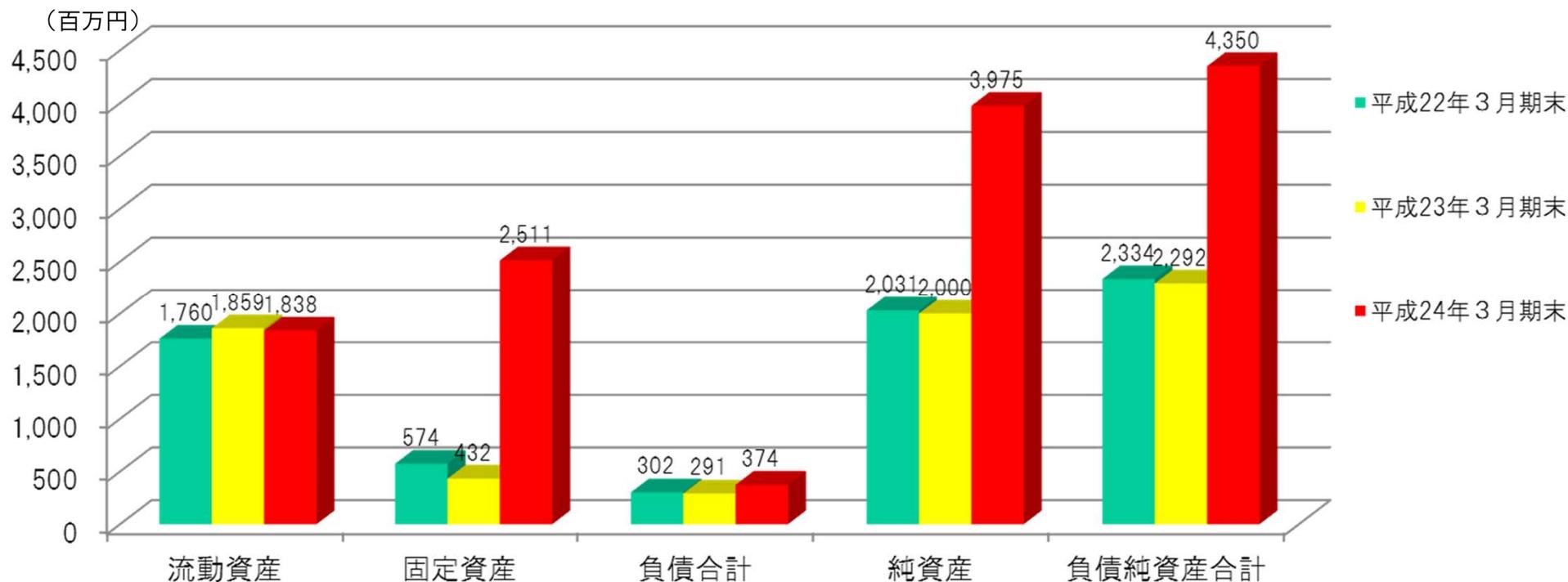
1-4. 分野別の売上実績

単位：百万円

| | 平成24年3月期 | | 平成23年3月期 | | 対前年増減 | |
|-----------|----------|--------|----------|-------|-------|--------|
| | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 |
| 金融製造 | 442 | 35.7% | 591 | 39.1% | △148 | -25.2% |
| モバイル・教育 | 189 | 15.3% | 234 | 15.5% | △44 | -19.0% |
| 医療 | 439 | 35.5% | 440 | 29.1% | △1 | -0.3% |
| 議事録 | 99 | 8.1% | 136 | 9.0% | △36 | -26.8% |
| タイ（連結子会社） | 66 | 5.4% | 108 | 7.2% | △42 | -38.7% |
| 合計 | 1,239 | 100.0% | 1,512 | 100% | △273 | -18.1% |



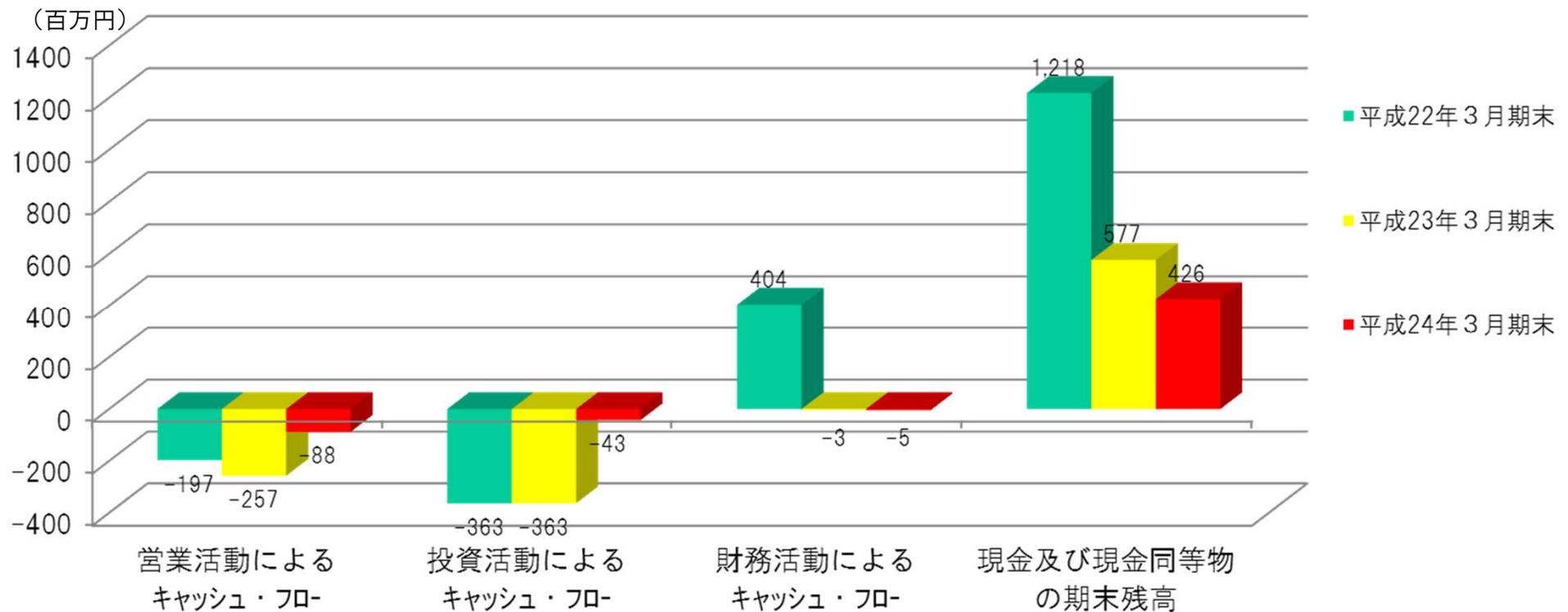
1-5. 連結貸借対照表



増減の要因

- 固定資産：投資有価証券1,668百万円増 長期前払費用206百万円増 長期未収入金293百万円増
- 純資産：利益剰余金1,634百万円のマイナス減少 その他有価証券評価差額金260百万円増

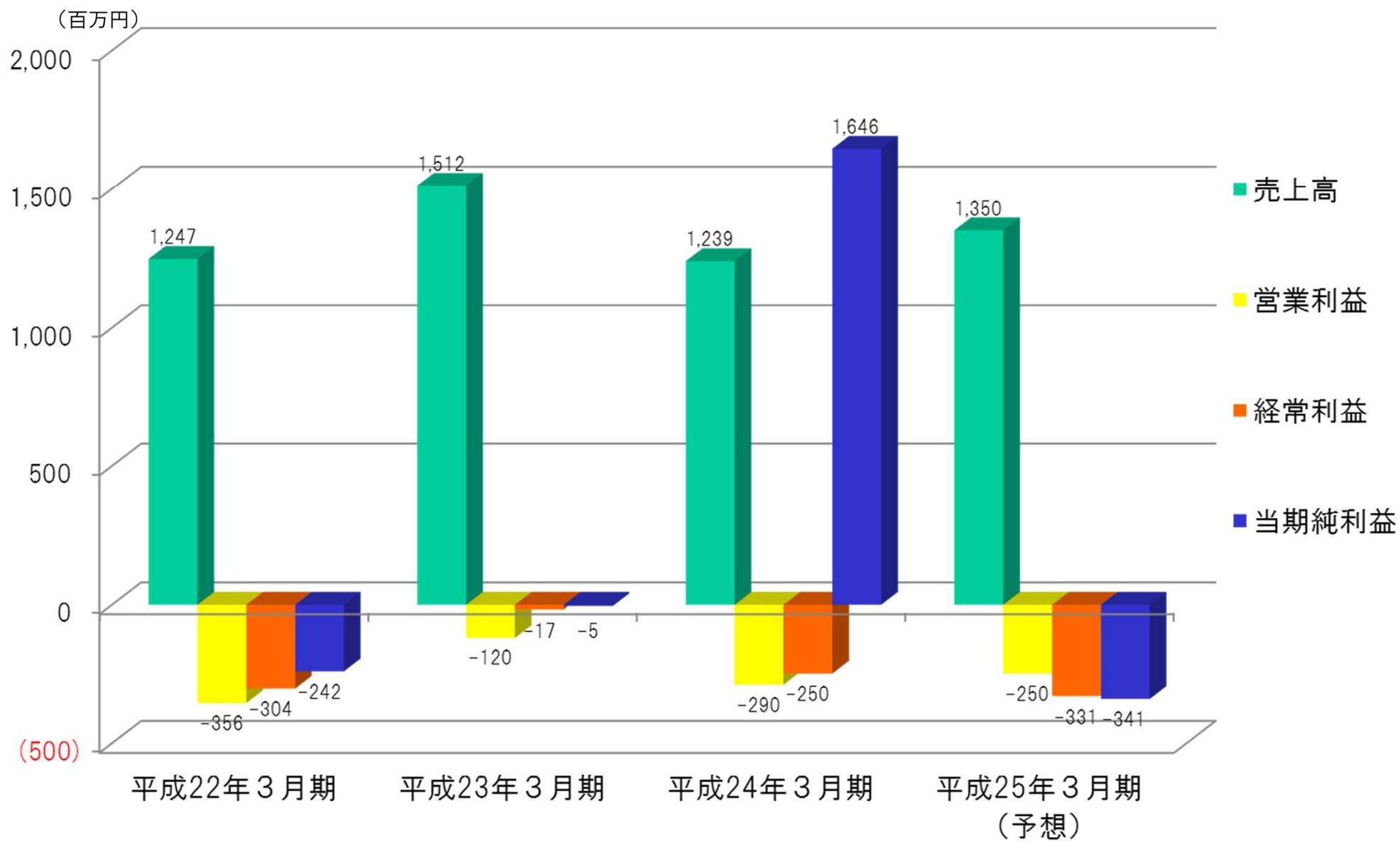
1-6. キャッシュフロー計算書



増減の要因

- 営業活動：税金等調整前当期純利益1,642百万円の計上、売上債権の増加額264百万円、関係会社株式の売却益△2,008百万円、持分法適用関連会社からの受取配当金122百万円
- 投資活動：投資有価証券の取得による支出749百万円、関係会社株式の取得による支出100百万円、関係会社株式の売却による収入823百万円

1-7. 業績の推移および今期計画



事業概況

(平成24年3月期)

代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

■ソリューションとプロダクトの商品力強化による拡販

○医療分野における音声入力システムの新シリーズ「**AmiVoice® Ex7**」を新発売

→認識率やユーザー利便性を向上させたことで、調剤薬局向けおよび放射線科向け製品の販売が好調に推移し、今期の医療分野事業を牽引

×コールセンター向け製品において大手金融機関以外への対応が遅れる

→大手金融機関を主要ターゲットに前期は大幅に伸長させたが、同業種や他業種への展開につなげる商品力強化やソリューション事業構造の変革に遅れが生じ、今期の目標に対して大きな未達

■新機軸サービス事業への取り組み

○株式会社サイバークラーク研究所株式の追加取得

→持分法適用関連会社化し株式会社ニチイ学館および株式会社サイバークラーク研究所との連携をさらに強化し、音声認識技術を活用したサービス事業を能動的に推進する体制に

×VDS（ボイスデータサービス）の展開が遅延

→サイバークラーク研究所とともに展開を予定しているVDSシステムの構築は進んだものの、医療分野でのサービス導入に手間取り、医療/議事録分野での市場化が遅延

Multimodal Technologies, Inc.（持分法適用関連会社）からMedQuistとの連携へ

■適時開示

1. 持分法適用関連会社株式の譲渡に関するお知らせ（平成23年7月12日開示）
2. 持分法適用関連会社株式の譲渡完了に関するお知らせ（平成23年8月19日開示）
3. 営業外収益および特別利益の発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ（平成23年8月29日開示）
4. Multimodal Technologies, Inc.（米国）との契約内容の変更に関するお知らせ（平成23年9月30日開示）

グローバル化の強化

財務面

- 売却益2,008百万円（連結）
- 今後3年間で8.251M\$のキャッシュの増加

技術・リソース面

- NASDAQ上場のMedQuist Holdings, Inc.株式を取得
- **AmiVoice**®のグローバル化を容易にかつ強力に推進可能

収益面

- グローバル化による収益の増大
- ロイヤリティ料率の低減による利益率の向上

第2次中期経営計画の実現に向けて強固な土台を構築

AmiVoice®は着実にライセンス数が増加し、一般消費者、企業で実用化が加速している

※2012年3月末現在



3,830ユーザ以上導入
累計 13,005ライセンス

- 放射線／病理画像レポート
- 電子カルテ向け音声入力
 - ・大病院 ・診療所
 - ・歯科クリニック
- 調剤薬局向け薬歴作成



- 次世代コールセンターソリューション
 - ・オペレータ支援 ・モニタリング
 - ・通話録音書起こし ・注意事項説明
 - ・IVR



- データ入出力、記録
 - ・作業報告、日報
 - ・点検、設備診断
- 顧客対応
 - ・電話番号自動案内（内外線）
 - ・受付案内

金融・産業ユーザ 376社以上
累計 7,892ライセンス

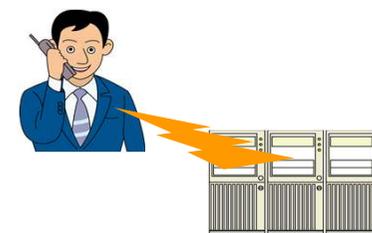
- 声紋認証
- コンプライアンス対応
- 株主総会支援等



- 発音評定・矯正
(英語, 日本語)
高校・大学293施設以上

- 議会議事録作成
- 講義、講演録作成

自治体・民間、累計76施設
累計 424ライセンス



- 携帯DSRの一般消費者向けモバイルサービス
 - ・音声認識メールクラウド
 - ・音声検索(Yahoo)
 - ・音声認識ブラウザ ・各種ゲーム
- 携帯DSRの企業向けモバイルアプリ・サービス、SDKの提供

コールセンター

■Topics

- コールセンター向け音声統合ソリューション「**AmiVoice® Communication Suite**」を中心に通期での大幅増収を達成すべく営業活動を推進したものの、当初見込んでいた案件が期内での成約に至らず、売上目標に対して大きな未達



ビジネスソリューション

■Topics

- 前期に販売を開始した音声認識キーボード入力システム「**AmiVoice® Keyboard**」を物流・製造・流通現場に拡販すべく営業活動を推進



モバイル

■ Topics

B to B to C

- Yahoo! JAPANに採用が進む
iPhoneアプリケーション「GyaO!」に採用
Androidマーケット”Yahoo!検索”に採用

B to B

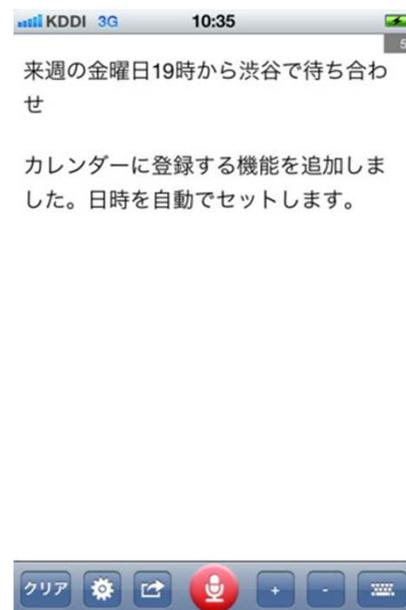
- 音声認識ブラウザ for iOS/Androidを新発売
医療・金融・保険など幅広い業務で対応可能



B to C

- 「音声認識メール クラウド」が、App Storeでランキング第1位を獲得

iPhoneアプリケーション「音声認識メールクラウド」が、App Storeのトップ有料アプリケーションカテゴリにてランキング第1位を獲得（平成23年12月3日～6日）



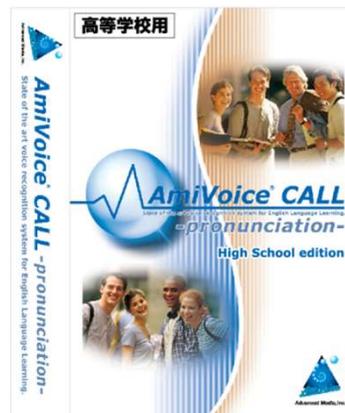
教育分野

■Topics

➤ 都立高校11校に納入

当連結会計年度より販売を開始した高校向けの学習に特化した日本人学習者向け英語発音矯正ソフト

「**AmiVoice® CALL -pronunciation- 高校版**」
を、都立高校11校に納入



コンシューマー製品

■Topics

➤ **AmiVoice® SP** 累計販売本数 1 万本達成

平成22年7月23日に一般ユーザー向け音声認識ソフト「**AmiVoice® SP**」(アミボイスエスピー)を発売し、累計販売本数が1万本を達成



医療分野

■Topics

- 医療向け音声入力システムの新シリーズ「**AmiVoice® Ex7**」を新発売

新音響モデル対応により認識率向上

辞書のメンテナンス支援機能

別売りのBluetoothなどのワイヤレスマイクでの操作にも対応

調剤薬局向けおよび放射線科向け製品の販売が好調に推移に推移



議事録分野

■Topics

中央省庁・地方自治体 5件

- 北海道泊村議会
- 静岡県川根本町議会
- 熊本県あさぎり町 等々

民間向け 3件

- 湘南信用金庫 等々

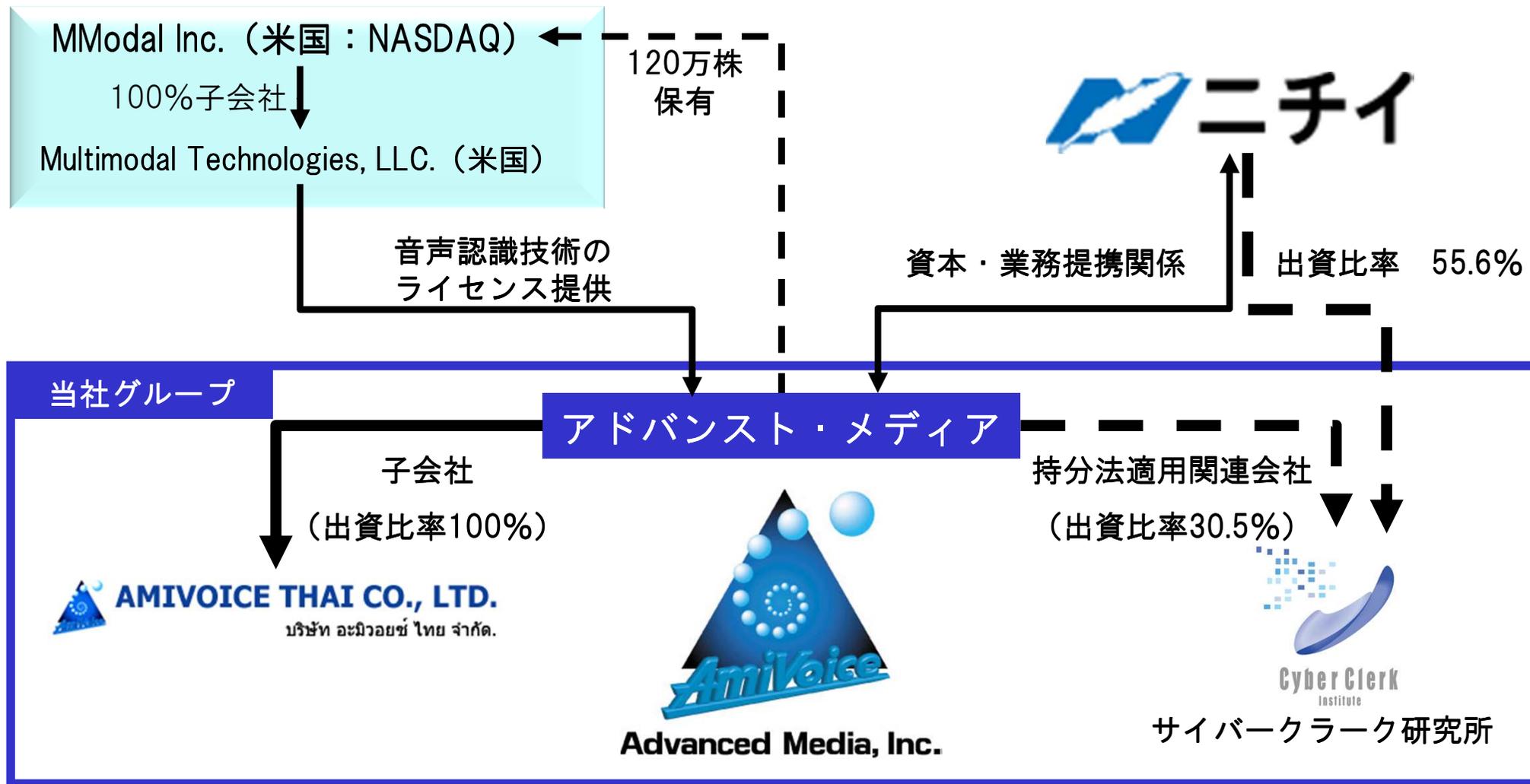
累計での納入実績を76件に伸ばす



今後の見通し (平成25年3月期)

代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

3-1. 当社グループの概況

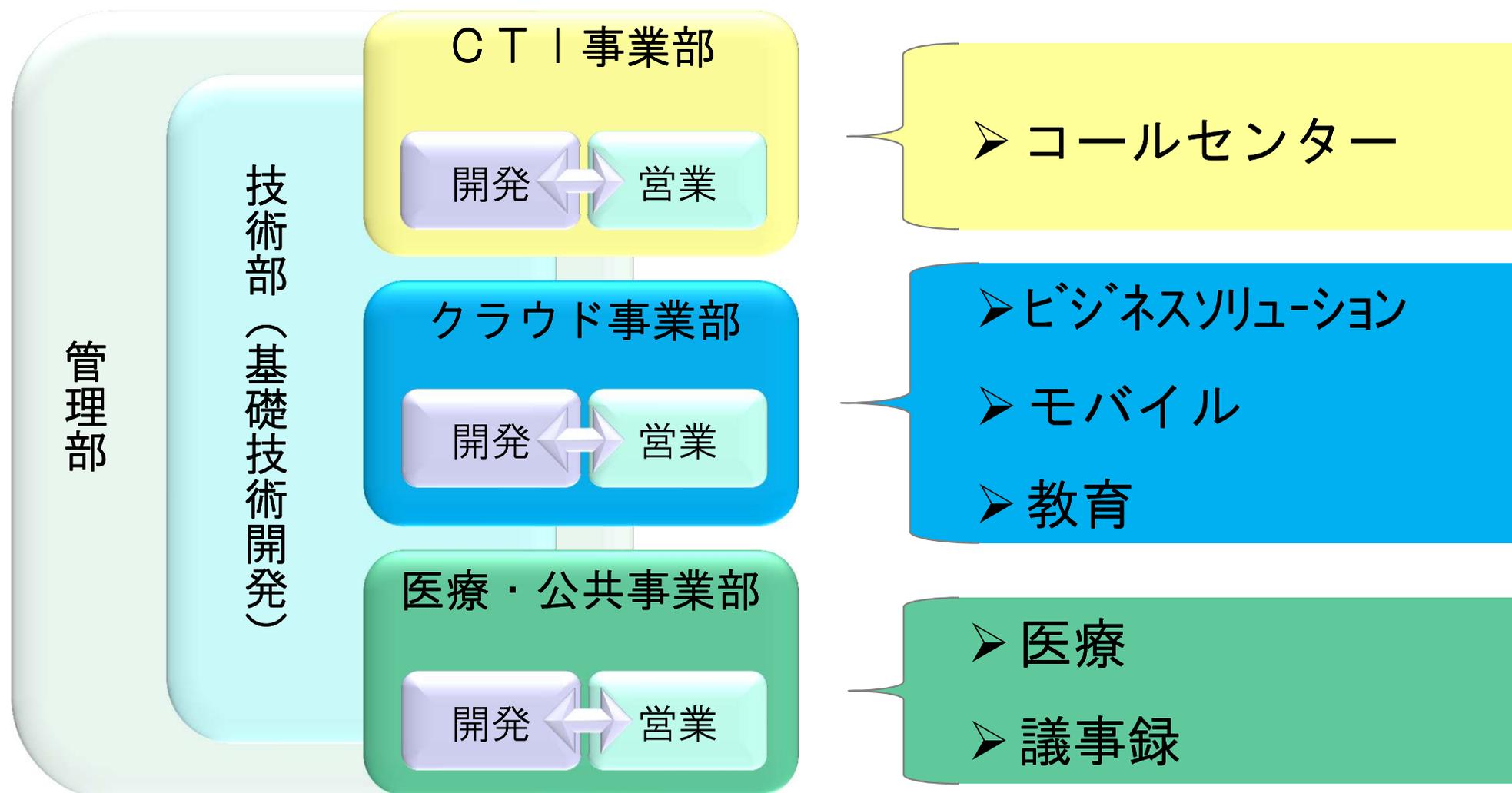


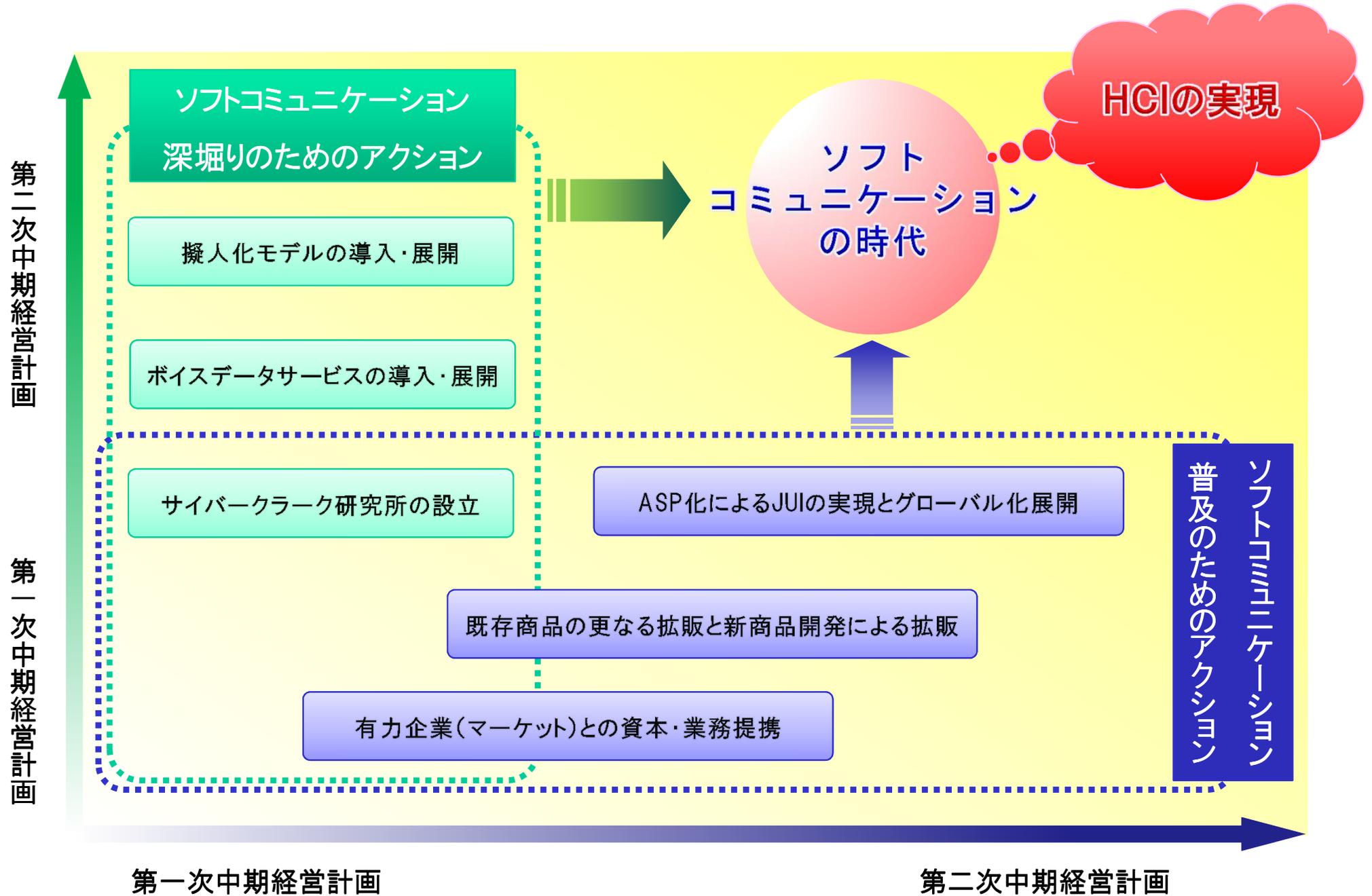
海外（タイ王国）
コールセンター関連

国内
コールセンター、医療、モバイル、教育、議事録、等々

3-2. 組織体制の変更について

従前の営業本部と開発本部から、営業と開発を一体とした事業部制に組織体制を変更。商品企画・開発を効率よく行い、既存製品の商品力向上、ソリューション事業のレベルアップ、新機軸サービスの展開をスピーディーに行う。





フェーズ1(2011年度～)

■ソリューションとプロダクトの商品力強化による拡販

コールセンター向け、携帯電話・端末向け、医療・調剤・製薬向けなど

■新機軸サービス事業への取り組み

ボイスデータサービス
(VDS)の導入

=

溢れる声をデータにするサービス事業

Action

- ・商品力強化、開発力の充実
- ・有力パートナーとの連携構築と強化

Action

- ・VDSシステム稼働環境整備
- ・医療/議事録分野での市場化

フェーズ2(2011年度後半～2012年度)

■ライセンス事業による安定収益化

■ソリューションサポート事業による安定収益化

■新機軸サービス事業への取り組み

VDSの展開推進

ボイスアクティベーションサービス
(VAS)の導入

=

声が生み出す価値を生み出すサービス事業

Action

- ・マイク、雑音処理技術の強化
- ・自然言語処理、オントロジー、知的推論技術との融合

Action

- ・各種音声認識クラウドサービス
- 音声対話型サービス
- 音声検索サービス
- 音声翻訳サービス …

フェーズ3（2012年度後半～2013年度）

■ サービスプラットフォームによる収益安定拡大基盤の確立

■ VASモデルによるサービス事業

声が価値を生み出すサービス事業

■ VDSモデルによるサービス事業

溢れる声をデータにするサービス事業

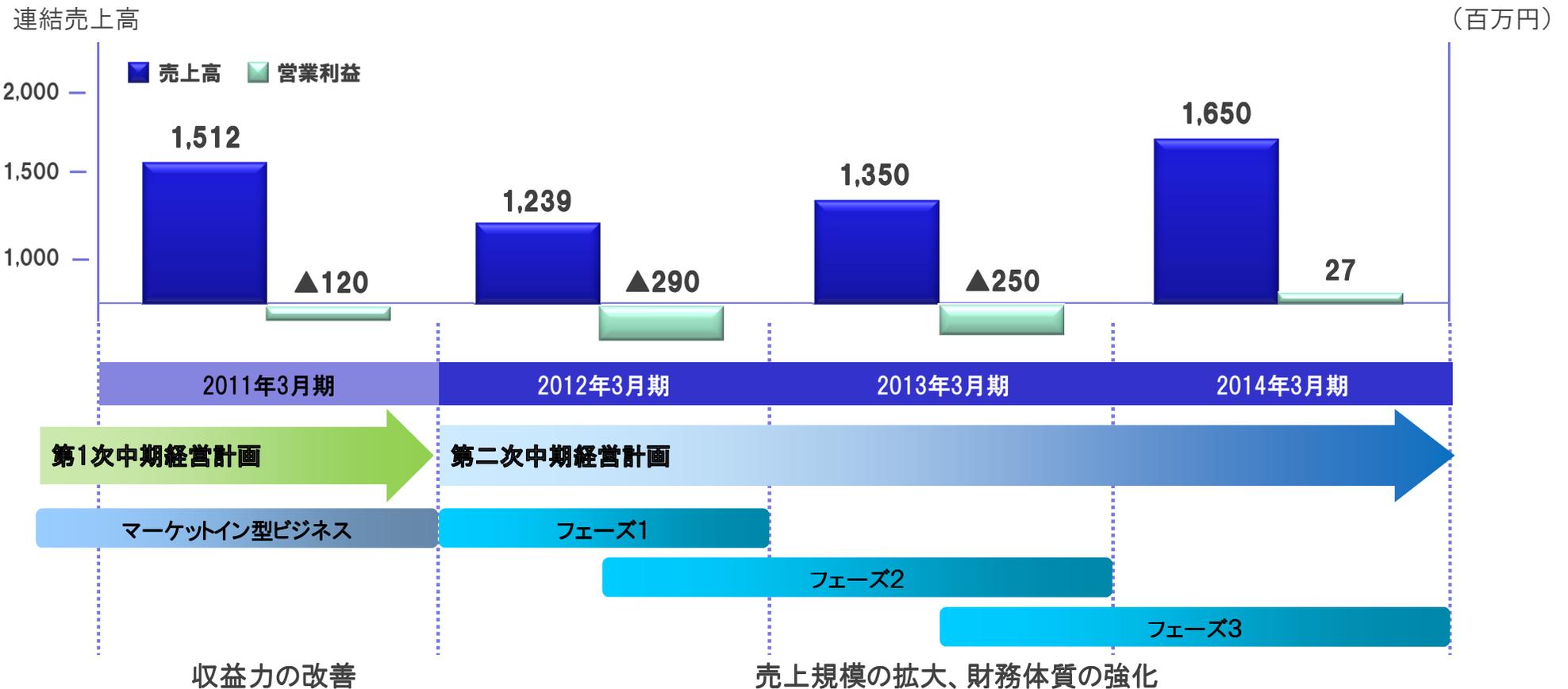
■ ライセンス事業による収益安定基盤の確立

■ ソリューションサポート事業による収益安定基盤の確立

ソフトコミュニケーションの時代

3-6. 今後の経営目標数値

P/L計画



| | 2011年3月期 (連結実績) | 2012年3月期 (連結実績) | 2013年3月期 (予想) | 2014年3月期 (予想) |
|----------|--------------------|--------------------|------------------|------------------|
| 売上高(成長率) | 1,512 (-) | 1,239 (-18.1%) | 1,350 (9.0%) | 1,650 (22.2%) |
| 営業利益 | ▲120 (-) | ▲290 (-) | ▲250 (-) | 27 (-) |
| 経常利益 | ▲17 (-) | ▲250 (-) | ▲331 (-) | 37 (-) |

お問合せは

株式会社アドバンスト・メディア

経営管理部 総務企画グループまで

TEL : 03-5958-1031

FAX : 03-5958-1032